

平成 25 年度当初予算 施策別取組概要

131 犯罪に強いまちづくり

(主担当部局 : 警察本部)

- 13101 みんなで進める犯罪に強いまちづくりの推進 (警察本部)
- 13102 犯罪の徹底検挙と抑止のための活動強化 (警察本部)
- 13103 組織犯罪対策の推進 (警察本部)
- 13104 犯罪被害者等支援対策の充実 (警察本部)
- 13105 県民の安全を守る活動基盤の整備 (警察本部)

平成 27 年度末での到達目標

県民に強い不安を与える凶悪犯罪や県民の身近で発生する街頭犯罪等が、地域と一体となった犯罪抑止活動、検挙活動等により減少しています。また、社会全体で犯罪被害者等を支援する機運が高まっています。

施策の数値目標

県民指標

| 目標項目 | | H23 年度 | H24 年度 | H25 年度 | H26 年度 | H27 年度 |
|---------|-----|----------|----------------|----------------|--------|----------------|
| 刑法犯認知件数 | 目標値 | - | 21,900 件 以下 | 21,600 件 以下 | | 21,000 件 以下 |
| | 実績値 | 22,215 件 | | | | |

各指標の H23 年度数値は現状値

目標項目の説明

刑法犯（道路上の交通事故に係る危険運転致死傷、業務上（重）過失致死傷および自動車運転過失致死傷を除く）について、1 年間に被害の届出や告訴・告発を受理等した件数

活動指標

| 目標項目 | | H23 年度 | H24 年度 | H25 年度 | H26 年度 | H27 年度 |
|-------------|-----|---------|---------------|---------------|--------|---------------|
| 街頭犯罪等の認知件数 | 目標値 | - | 3,200 件 以下 | 3,200 件 以下 | | 3,200 件 以下 |
| | 実績値 | 3,641 件 | | | | |
| 凶悪犯の検挙率 | 目標値 | - | 80.0% | 80.0% | | 80.0% |
| | 実績値 | 71.6% | | | | |
| 主な侵入犯罪の検挙人員 | 目標値 | - | 210 人 | 210 人 | | 210 人 |
| | 実績値 | 194 人 | | | | |
| 暴力団検挙人員 | 目標値 | - | 280 人 | 280 人 | | 280 人 |
| | 実績値 | 250 人 | | | | |

| 目標項目 | | H23 年度 | H24 年度 | H25 年度 | H26 年度 | H27 年度 |
|---------------|-----|---------|---------|---------|--------|---------|
| 犯罪被害者等支援の理解者数 | 目標値 | - | 3,500 人 | 3,500 人 | | 3,500 人 |
| | 実績値 | 2,603 人 | | | | |
| 交番・駐在所施設の充実度 | 目標値 | - | 40.0% | 41.0% | | 43.0% |
| | 実績値 | 38.8% | | | | |

各指標のH23 年度数値は現状値

進捗状況（現状と課題）

- これまで地域の安全を確保するため、犯罪の検挙と抑止に取り組んできた結果、県内の刑法犯認知件数は、平成 14 年以降ほぼ毎年減少し、ピーク時の半数以下にまで減少させるなど着実に成果を挙げてきました。平成 24 年度上半期においても、一定の減少傾向を維持しており、指標の上では、治安は一定程度改善していると言えます。しかしながら、県民に強い不安を与える凶悪犯罪・侵入犯罪、県民の身近で発生する街頭犯罪、暴力団等による組織犯罪等は、依然として後を絶たず、県民の皆さんの不安を解消するには至っていません。
- このような現状において、さらに刑法犯認知件数を減少させ、県民の皆さんが「安全・安心」を実感できる地域社会を実現するため、自主防犯活動に対する支援等地域と一体となった犯罪抑止活動や凶悪犯罪、街頭犯罪等に対する検挙活動を一層推進する必要があります。

平成 25 年度の取組方向

警察本部

- これまでの自主防犯活動に対する支援に加え、新たに次代を担う若者の自主防犯活動等への参画を促進するなど、その裾野を拡大し、地域における絆を再構築するとともに、規範意識の向上を図り、犯罪に強いまちづくりを推進します。
- 犯罪に強いまちづくりを推進するため、犯罪の被害に遭いにくい生活環境の確保、子どもや女性の安全の確保、自主防犯活動団体のさらなる活性化などに取り組めます。
- 犯罪の徹底検挙と抑止のため、初動捜査活動の強化、科学捜査活動の高度化などを図るほか、各種法令による指導・警告等の活動を推進します。
- 暴力団等による組織犯罪に対処するため、暴力団排除条例を活用した社会全体での暴力団排除に取り組むほか、違法行為の取締り、薬物・銃器の根絶など、総合的な対策を推進します。
- 社会全体で犯罪被害者等を支援する機運を醸成するため、「命の大切さを学ぶ教室」を開催するほか、幅広く広報・啓発活動を実施します。
- 警察活動を支える基盤を強化するため、交番・駐在所等の施設や各種捜査支援システムなどの整備を図ります。

主な事業

警察本部

みんなで進める犯罪に強いまちづくりの推進事業【基本事業名：13101 みんなで進める犯罪に強いまちづくりの推進】

予算額：(24) 843千円 (25) 762千円

事業概要：地域における少年の非行防止活動の核となる人材を育成するとともに、さまざまな主体による少年の非行防止活動を拡大するため、大学生ボランティアによる非行少年の立ち直り支援活動等を推進します。

県民が安心して歩ける防犯まちづくり事業【基本事業名：13101 みんなで進める犯罪に強いまちづくりの推進】

予算額：(24) 12,464千円 (25) 23,705千円

事業概要：犯罪に強いまちづくりを推進するため、学校や駅周辺等の街頭に街頭緊急警報装置等の防犯機器を設置して、子どもや女性が安心して歩ける生活環境を確保します。

暴力団排除条例広報啓発事業【基本事業名：13103 組織犯罪対策の推進】

予算額：(24) 1,391千円 (25) 679千円

事業概要：暴力団に係る違法行為の取締りに加え、社会全体で暴力団を排除する機運を一層高めるため、暴力団排除条例の積極的な広報を行います。

犯罪被害者等支援対策の充実事業【基本事業名：13104 犯罪被害者等支援対策の充実】

予算額：(24) 1,432千円 (25) 1,414千円

事業概要：犯罪被害者等支援に対する若者の理解を深め、支援活動への参画を促進するため、中学生、高校生および大学生を対象とした「命の大切さを学ぶ教室」を開催するほか、次代を担う若者、事業者等を対象とした幅広い広報啓発活動を推進します。

警察官駐在所等整備事業【基本事業名：13105 県民の安全を守る活動基盤の整備】

予算額：(24) 59,092千円 (25) 57,487千円

事業概要：地域の警察活動を支える基盤を強化するため、「生活安全センター」である交番・駐在所等の施設の整備・充実を図ります。

捜査支援システムの整備事業【基本事業名：13105 県民の安全を守る活動基盤の整備】

予算額：(24) 96,666千円 (25) 153,535千円

事業概要：警察活動の基盤を強化するため、凶悪犯罪、侵入犯罪、広域犯罪等に対応する捜査支援システムの拡充整備を図ります。